

2015年8月10日

会員各位

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）事務局

2015年度第2回ASIFスキルアップセミナー開催案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記要領にて車載組込みシステムフォーラム（ASIF）2015年度第2回スキルアップセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。参加希望の方は、9月4日までに下の【申込み】欄に記載のWebからお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

【テーマ】 「スパゲティプログラムからの脱却！ ソフトウェア・プロダクト・ライン開発の基礎と応用」

【開催日】 2015年9月15日（火）13:35～16:30（開場受付13:10～）

【会場】 栄ガスビル5階 501会議室（名古屋市中区栄三丁目15-33）
(URL:<http://www.gasbldg.net/>)



【セミナー概要】

車載組込みソフトウェア開発の現場では、ソフトウェア資産を流用することで開発期間短縮と信頼性の確保を実現しています。基本ソフトウェア分野におけるAUTOSAR導入は再利用効果が発揮されつつありますが、アプリケーションソフトウェア分野においては仕様追加や変更を繰り返すうちにソフトウェアの複雑化・肥大化（スパゲティプログラム化）が進み、再利用・メンテナンスが困難な状況に陥ることが課題となっています。

今回、ご講演頂くソフトウェア・プロダクト・ライン開発は、複雑化・肥大化が進む既存ソフトウェアを部品化し、再利用性を確保していくための解決手法の一つとして注目されています。本セミナーでは、ソフトウェア・プロダクト・ライン開発手法を導入する為の基礎から応用事例、品質管理手法をご紹介します。

【プログラム】

13:35～13:40 (5 分) 開催ご挨拶

13:40～15:00 (80 分)

講演：「ソフトウェア・プロダクト・ライン開発の基本と実践形態」

概要： ソフトウェア・プロダクト・ライン開発は、単一システムではなくシステム群を対象として開発を行ない、全体として効率を上げようとする考え方です。

対象の全システムの基となるソフトウェア資産を持つことが基本ですが、その用意の時期、方法にはバリエーションがあります。今回はまず基本を概説し、次いでその実践形態の種類について説明します。

講師：株式会社SRA 産業第1事業部 林 好一 様

15:00～15:10 (10 分) 休憩

15:10～16:30 (80 分)

講演：「ソフトウェア・プロダクト・ラインのモデル駆動開発と実績管理」

概要： ソフトウェア・プロダクト・ライン開発では、組織的・体系的にソフトウェア資産を再利用します。本講演では、モデル駆動開発を使って、ソフトウェア資産の再利用性を向上させる方法を解説します。

また、資産の再利用実績を管理して、ソフトウェア・プロダクト・ラインの製品バリエーションの品質を管理する方法について説明します。

講師：株式会社デンソー 情報通信基盤開発部 HMI-PF 開発室 加藤 滋郎 様

【参加費】 ASIF 会員 : 無料
ASIF非会員 : 3,000円 当日現金でお支払ください。領収書をお渡しします。

【定員】 120名

【申込み】 ・下のWebサイトからお申込みください。
<http://www.as-if.jp/seminar-form3.html>
・申込期限：2015年9月4日（金）
・先着順で受け付けます。期限前でも定員（120名）になり次第締め切ります。

【参加票】 お申込みと同時に登録されたメールアドレスへ参加票が送付されます。
当日その参加票を印刷して受付へご提示ください。

【問合せ先】 車載組込みシステムフォーラム（ASIF）事務局
公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室 齊藤、澤田
TEL：052-231-6723 FAX：052-204-1469 e-mail：monodukuri@cstc.or.jp

以上